

# PIN-KAN

PIN-KAN パック

■ ■ ■ 取扱説明書

**DENSEI**  
SYSTEMS

株式会社電制システムズ

## はじめに

この度は、PIN-KAN パックをお求めいただき誠にありがとうございました。

PIN-KAN パックは、明京電機株式会社製品「WATCH BOOT」シリーズ（以下、製品と略します）の PING 監視や遠隔制御機能を、簡単かつ十分に利用できるようにするため、必要な設定や利用環境を加えてパッケージ化したものです。

この取扱説明書には、PIN-KAN パックとして、製品に加えられている設定や、ご利用方法についての説明が記されています。組み合わせられている製品により、アウトレットの数や形状、利用できるオプションに違いがありますが、すべての PIN-KAN パック共通の説明書となっています。

それで、実際のご利用においては、製品に添付されている 明京電機株式会社の取扱説明書を、ご精読なさるようお願い申し上げます。

PIN-KAN パックが十分に活用されることにより貴社システムに「安心」と「快適」がもたらされることを願っています。

最新情報は HP よりご確認ください <http://www.densei-sys.co.jp>

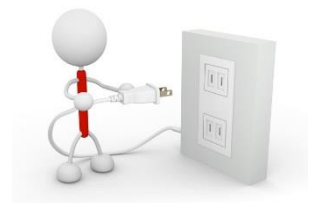
製品以外の添付物：PIN-KAN 設定表 1 枚

## PIN-KAN パックの主な特徴

- PING の監視先があらかじめ設定されています。
- PING の監視先として、4つのネームアドレスが提供されます。
- PING 監視に必要な、送信先、送信・無答回数、動作などが設定されています。
- 通知や制御用に、専用の E-mail アドレスが設定されています。
- お申し込みいただいた E-mail アドレスが通知先に登録されています。

だから・・・

- ルーターに接続するだけで、すぐに監視が始まります！
- PING 監視による自動リブート機能が、すぐに使えます！
- E-mail による制御と通知が、すぐに使えます！



# 目 次

---

第一章 PIN-KAN パックの設定内容	• • • • • P.4
その1：PING監視の設定	
その2：通信設定（E-mail 設定）	
第二章 PIN-KAN パックの使い方	• • • • • P.6
まず使ってみよう！	
その1：PING 監視	
その2：E-mail 制御	
その3：E-mail 制御	
第三章 ちょっと詳しく少し使ってみよう！	• • • • • P.13
その1：PING 監視のカスタマイズ	
その2：E-mail 通知・制御のカスタマイズ	
その3：その他の設定	
第四章 PIN-KAN パックの注意点	• • • • • P.22
その1：PING 監視	
その2：通信設定（E-mail 設定）	
その3：その他の注意	
第五章 PIN-KAN パックのトラブル対応	• • • • • P.24
その1：PING 監視	
その2：通信設定（E-mail 設定）	
その3：その他のトラブル対応	
付録	• • • • • P.26
E-mail 制御コマンド・レスポンス一覧表	
「PIN-KAN 設定表」	

# 第一章 PIN-KAN パックの設定内容

この章では、PIN-KANパックで設定されている、設定内容をご説明します。

設定内容を理解していただくための章です。

概要をつかんだ上で、第二章の「PIN-KANパックの使い方」に進んでください。

## その1：PING監視の設定

**インターネットに接続できなくなるとアウトレット1の電源がOFF/ONします！**

インターネットへのPING監視が、アウトレット1に設定されています。フリーズした時にリポートしたい機器をアウトレット1に接続すれば、自動監視、自動リポートが実現します。

**監視先として独自のアドレスが4つ設定されています。**

弊社が管理しているインターネット上の4つのアドレスが設定されています。ルーターのローカル側アドレス（デフォルトゲートウェイ）の監視では把握できない、ルーターのネットワーク側の不具合も検出できます。

**注意！** 監視先アドレスは、インターネット上のアドレスです。  
インターネットに接続できない環境では、ご利用になれません

**監視先への送信回数と無答回数は10回、10分でリポートされます！**

1分毎にPINGが実施され、4つのアドレスから10分間応答が無いと、異常が生じたと判断して、供給電源をOFF/ONします。OFFしている時間は10秒です。

**注意！** NTPサーバーについて  
ご希望のNTPサーバーも設定しています。ご指定の無い場合は、標準的NTPサーバーを設定しています。

## その2：通信設定（E-mail 設定）の内容

### PING 監視のイベントがE-mail で通知されます！

P I N G監視で異常と判断された時に、このメールアドレスから通知メールが送信されます。

通知先は全部で8個設定できます。ご注文いただいた時に、ご指定していただいたメールアドレスが一つ設定されています。

[通知メールの例]

PING 監視でリポートした後、正常に回復したことを知らせるメール

件名： REPORT: Noname      Noname は機器名称の設定によります。

本文： 2013/07/30 11:49:01      イベント発生日時です。

Nowhere                      Nowhere は設置場所の設定によります。

\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*              製品のIPアドレスです。

00:09:EE:\*\*:\*\* \*\*              製品のMACアドレスです。

1 死活判定(RECOVERED) (Outlet1)

アウトレット番号/イベント/復旧/アウトレット名称

### E-mail 送信で電源を制御できます！

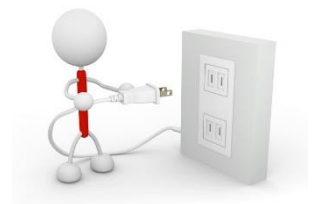
「通知・制御用メール」として登録されているメールアドレスから、E-mail を送信することで電源の遠隔制御ができる、E-mail 制御（パスワード方式）が設定されています。

*お疲れ様でした！*

*イメージをつかむことができましたでしょうか？*

*次の章では、製品の使い方をご説明します。*

*実際に製品を使いながら、試してみてください。*



## 第二章 PIN-KAN パックの使い方

まず使ってみよう！

### その1：PING 監視

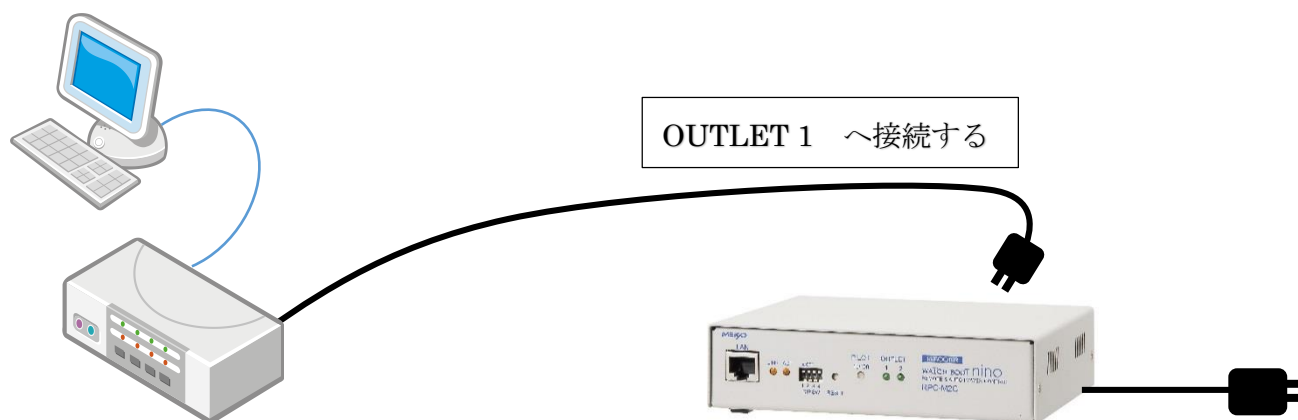
#### 1) 製品の電源を入れます！

製品のアウトレットには、まだ何も接続しないでください。  
その状態で、製品のコンセントを電源に差し込んでください。  
RPC-M5C、RPC-M4L の場合、必要に応じて 2P/3P 変換プラグをご利用ください。  
フロントの PILOT-LED、OUTLET-LED が点灯（あるいは点滅）します。



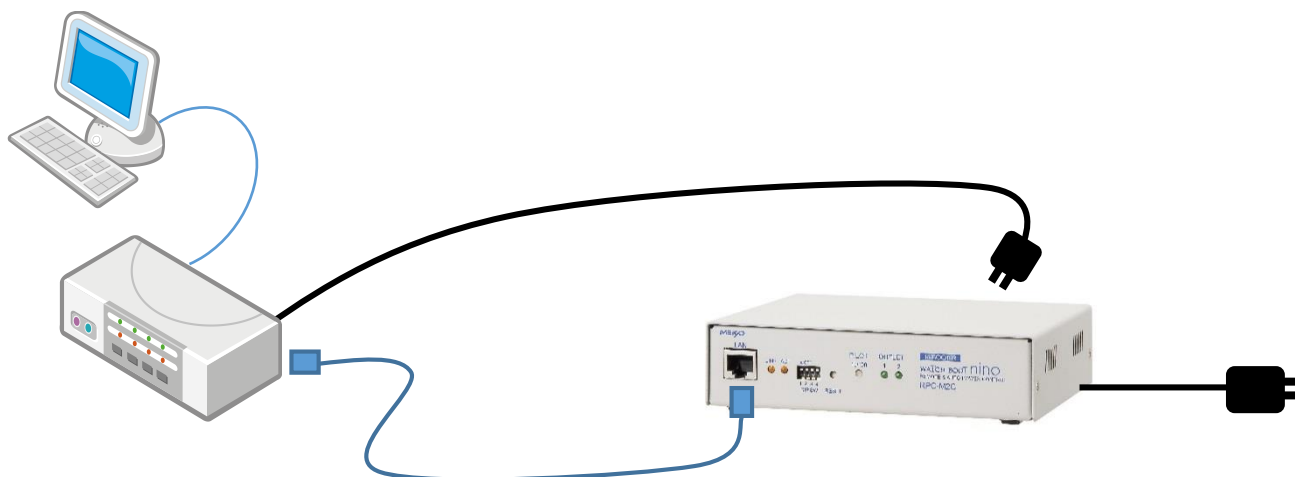
#### 2) 次に、ルーターの電源コンセントを、製品背面のアウトレット1に接続します。

ルーターの電源が入ります。数分間、ルーターの起動を待ちます。  
ルーターに接続されているパソコンなどから、従来とおり、インターネットに接続できる  
ことをご確認ください。



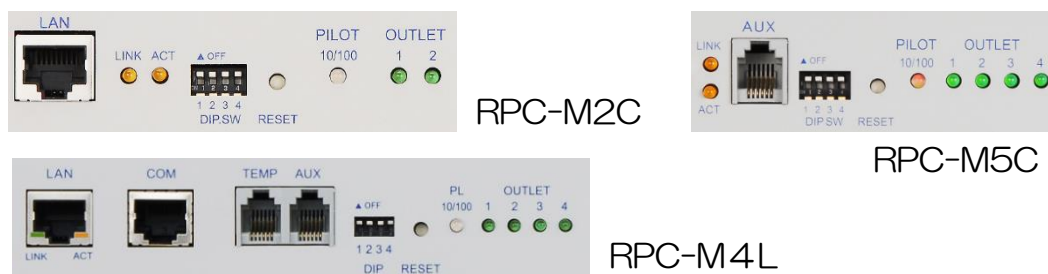
### 3) LAN ケーブルを接続します。

製品のフロントにある「LAN」のインターフェース(RJ-45)と、インターネットに接続されているHUBやルーターのLANインターフェース (RJ-45) を、市販のLANケーブル (ストレート) で接続してください。



### 4) LED の状態を確認して準備完了です！

LAN ケーブル接続後、5分程度待つ、製品のLEDの状態を確認します。



LED の名称	正常な状態	備 考
LINK	1 秒点滅	0.5 秒点滅の場合はケーブルを確認してください。
ACT	点灯、消灯	数分経過しても、LINK と ACT が交互に点灯し続ける場合は、ルーターを再起動してみてください。
PILOT 10/100	緑色点灯	橙色点灯は 10BASE-T 固定。問題ありません。
OUTLET 1	点滅→点灯	数分経過しても点滅が続く場合は、インターネット接続に問題があります。回線を確認してください。
OUTLET 2 以降	点灯	電源 ON 時に点灯。電源 OFF 時に消灯。



## 5) いよいよ、ルーターの自動リブートをテストします。

製品から LAN ケーブルを抜いてください。10 分ほど経過すると、通信できないため、PING の疎通が確認できず、製品は、フリーズが発生したと判断して、ルーターの電源を OFF/ON します。

無事に電源リブートが実行されたでしょうか？  
次に、LAN ケーブルを差し込んでください。

再び、PING への応答が確認できるようになると、登録していた通知先メールアドレスに回復を通知するメールが数分以内に送られてきます。

通知メール例：

件名：REPORT:Noname	←機器名称
本文：2013/07/25 08:45:00	←イベント発生日時
Nowhere	←設置場所
192.168.0.95	←機器 IP アドレス
00:09:EE:00:09:09	←機器 MAC アドレス
1 死活判定(Recovered) (Outlet1)	←イベント内容

※ 5 ページの、[通知メールの例]もご参照ください。

**注意！** 正常にテストできない場合は、第五章の PIN-KAN パックのトラブル対応をご参照ください。また、問題となった場面について詳しく記して、ホームページのお問い合わせフォームよりご質問いただければサポートさせていただきます。

メールは無事に届きましたか？

メールが無事に届けば、自動リブートのテストは終了です！

これで、ルーターがフリーズした場合には、

ルーターの電源再起動が、自動的に行なわれるようになりました！

フリーズのたびに、現地に駆けつける必要は無くなります！



## その2 : E-mail 制御

### 1) 制御用の E-mail にメールを送信する準備をします。

メール送信ソフト、あるいはブラウザから制御用の E-mail にメールを送信します。

送信先：制御用 E-mail アドレスは、添付の「PIN-KAN 設定表」に記されています。

送信元：通知先メールアドレスとして登録されているものを利用します。

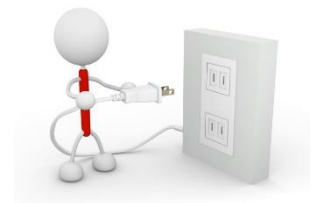
### 2) メールの内容を記します。

制御用の E-mail アドレスに、次の形式で、コマンド（命令）を送信します。

件名： 特に記載する必要はありません。空白でも構いませんし、  
「POR2テストメール」など、覚え書きとして記しても構いません。

本文： 1行目にパスワードを英数半角で入力します。  
2行目には、コマンドを入力します。  
続けて、次の行にコマンドを記すことができます。  
最後にコマンドを記した行で改行を行います。

制御用のパスワードは、「PIN-KAN 設定表」に記されています。



### 3) 制御用のメールを送信します。

実際にメールを送信して制御してみましょう。

テストではアウトレット2とアウトレット3のリポートを実施します。

送信後、5分程度でコマンドが実行され、結果を通知するメールが届きます。

「送信先」「送信元」「パスワード」は「PIN-KAN 設定表」をご確認ください。

#### 【送信メール】

件名： POR テストメール ←覚え書きとして記載

本文： ●●●●●● (改行) ←パスワードを記載  
POR2 (改行) ←コマンドを記載  
POR3 (改行) ←コマンドを記載  
←何も記されていない行

注意！ フリーメールなどでは、1行目に自動的にコママーシャルの文字が入るため正常に動作しない場合があります。ます。文末に署名が入っていると、コマンドと誤解されてしまいますので、ご注意ください。

#### 【受信メール】

件名： 13/07/25 10:16:06 Command Response ←実行日時

本文： > POR2  
220 Command OK. ←POR2 コマンドの正常実行  
> POR3  
220 Command OK. ←POR3 コマンドの正常実行

電源は、無事に制御されて OFF/ON されましたか？

アウトレット2とアウトレット3の電源が OFF して、10 秒後に ON されます。

通知のメールが無事に届けば E-mail 制御のテストも終了です！

これで、どこにいても E-mail を送信するだけで電源の制御が可能になります。

送信する様々なコマンドやレスポンスについては、

付録の E-mail 制御コマンド・レスポンス一覧表をご覧ください！



## 第三章 ちょっと詳しく少し使ってみよう！

---

製品の設定方法を覚えると、さらに便利に利用することができます。

例えば・・・

- フリーズしたことを 10 分よりも早く知りたい！
- リブートしても回復しない場合に、もう一度リブートさせたい！
- E-mail 通知に表示される「設置場所」や「機器名称」を登録しておきたい！
- 通知先の E-mail アドレスを追加したり、変更したりしたい。
- E-mail 制御のパスワードを変更したい。
- etc.

設定の変更方法は、製品に添付されている明京電機株式会社の取扱説明書を参照することができますが、以下、メーカーの取扱説明書には記されていない簡単な変更方法をご紹介します。

製品にブラウザで接続する方法！

1. 製品と同じ LAN に接続されているパソコンのブラウザを開きます。
2. アドレスに PING 監視の通知メールに記されていた機器 IP アドレスを入力して実行します。

ログイン画面が開けましたか？ ID とパスワードを入力してログインしてください。

ID : admin (デフォルト) パスワード : magic (デフォルト)

おまけ！ PING 監視のメール通知が確認できていない場合は、こんな方法でも・・・

機器 IP アドレスを知る方法として、パソコンの[スタート]から[プログラムとファイルの検索]を選び、そこに[CMD]と入力して実行します。黒い画面のコマンド入力画面が出てきます。そこで[arp -a]と入力して実行します。現在のアープテーブルが表示されます。物理アドレスの先頭が[00-09-ee]となっているものがありますか？それが製品の物理アドレスですから、そのインターネットアドレスが IP アドレスになります。

## ログイン画面 (RPC-M5C)

RPC-M5C Login [Noname]

ユーザーID

パスワード

ユーザーIDとパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。

ユーザーID : admin (デフォルト)

パスワード : magic (デフォルト)

## ログイン後の簡易情報画面 (RPC-M5C)

WATCH BOOT

状況表示項目

- 簡易情報表示
- 監視状態表示
- イベントログ表示

制御項目

- 電源制御

設定項目

- 基本設定
- 通信設定
- 監視設定
- スケジュール設定
- システム情報
- PING送信
- 簡易説明
- CPUリセット

admin  
**Admin**  
192.168.0.78  
ログアウト

明京電機株式会社

簡易情報表示

アウトレット情報

No.	アウトレット名称	監視	電源
1	Outlet1		<input type="button" value="ON"/>
2	Outlet2		<input type="button" value="ON"/>
3	Outlet3		<input type="button" value="ON"/>
4	Outlet4		<input type="button" value="ON"/>

機器情報

機器名称 Noname

接続ユーザー情報

ユーザーID admin **Admin**

IPアドレス 192.168.0.78

※ 他の機種でも画面構成は同じです。

## その1：PING 監視のカスタマイズ

ログインできたら左側のメニューから「監視設定」を選んでクリックしてください。  
監視設定の画面が出てきます。PIN-KAN パックでは、アウトレット1に死活監視の設定が行なわれています。

「監視設定」画面

	監視先	DG	送信	無答	対象
1	●●●●●●●●	<input type="checkbox"/>	10	10	4
2	●●●●●●●●	<input type="checkbox"/>			
3	●●●●●●●●	<input type="checkbox"/>			
4	●●●●●●●●	<input type="checkbox"/>			

▲ アウトレット番号

動作	回数	間隔
リポート	1	1

アウトレット1のPING監視設定画面

「送信」「無答」「回数」「間隔」の部分を変更することでカスタマイズできます。

**注意！** 他の設定は変更しないでください。正常に監視できなくなる可能性があります。

「送信」と「無答」

「送信」と「無答」の数を少なくすると早くフリーズを発見できます。  
一方、ちょっとした回線の不調でもリポートが発生してしまいます。

もう少し詳しく・・・

「送信」というのは、PING 監視用のパケット (ICMP) の送信のことです。  
1分毎に1個パケットが送信されます。「送信」回数、このパケットを送信して、「無答」回数、応答が無いと、おかしい！（異常）と判断します。

「送信」と「無答」の回数が同じ場合は、連続して応答が無い場合に異常と判断します。一方、「送信」より「無答」が少ない場合、時々、応答があるというように、調子が悪くなった状態も検出することができます。

例：×→×→×→×→○→×→×→×→×→×（応答有○、応答無×）

「送信」9、「無答」9の場合、連続して9回×でないので正常と判断

「送信」10、「無答」9の場合、直近の10回中、9回×なので異常と判断



## 「回数」と「間隔」

最初にリポートした後、「間隔」（単位：分）で設定した時間だけ、PINGの応答が無いと、再度リポートします。ルーターのフリーズ以外に、回線トラブルなどに問題がある場合などでは、何度か、リポートすることで復旧することが考えられます。

ルーターをリポートした場合、正常にルーターが起動して外部と通信ができるようになるまでには、数分程度必要な場合があります。リポートの「間隔」が短いと、正常に起動する前に、再リポートされてしまう危険があります。それで、再リポートを利用する場合は、「間隔」時間を、ルーターが正常に起動するよりも長めに設定する必要があります。

この「回数」とは別に、PINGの応答の無い状態が続く場合は、1時間ごとにリポートを繰り返す、仕様になっています。

項目	設定値	説明
監視先	●●●●●●●●	PING 監視先のアドレス。 異なる4つのアドレスが設定されています。
DG	( 空 白 )	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを監視する場合。PIN-KANパックでは、外部のアドレスを監視するのでチェックしません。
送信	10	死活を判断する送信回数。
無答	10	死活を判断する無応答回数。
対象	4	死活を判断する監視対象数。PIN-KANパックでは、すべての監視アドレスが異常と判断された時に動作を実行します。
動作	リポート	異常と判断した時の動作。電源をOFFし、10秒後にONします。(10秒はデフォルト値です)
回数	1	リポートする回数。1回だけリポートします。
間隔	1	リポートを繰り返す場合の間隔(分)。

## その2 : E-mail 通知・制御のカスタマイズ

ログインできたら左側のメニューから「通信設定」>「メール設定」を選んでクリックしてください。メール設定の画面が出てきます。

「メールサーバー設定」の画面

メールサーバー設定	
ユーザー名	●●●●●●●●
パスワード	●●●●●●
メールアドレス	●●●●●●●●
POP3サーバ名	●●●●●●●●
SMTPサーバ名	●●●●●●●●
自動ログアウト時間(分)	10
メールチェック間隔(分)	3
メールリトライ間隔(秒)	10
POP3ポート	110
SMTPポート	587
APOP利用	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
SMTP-AUTH利用	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メール制御コマンド有効	パスワード方式
メール制御パスワード	●●●●
メール制御許可アドレス	通知先アドレスのみ
送信メール 件名	機器名称
送信メール 本文1行目	日時又は積算時間
送信メール 本文2行目	設置場所
送信メール 本文3行目	機器IPアドレス
送信メール 本文4行目	MACアドレス
送信メール 本文5行目	イベント内容

「ユーザー名」～「SMTP-AUTH 利用」までは、メールサーバー用の設定です。メール制御コマンド有効以下を変更することでカスタマイズすることができます。

**注意！** 他の設定は変更しないでください。正常に監視できなくなる可能性があります。

### 「メール制御コマンド有効」

メール制御コマンドの有効/無効について、また、有効の場合の奉仕を選択することができます。PIN-KAN パックでは、パスワード方式を選択しています。

無効	メール制御コマンドを利用しない場合
ログイン方式	最初のメールでログイン要求を出して、ワンタイムのIDを受け取ってからコマンドを送信します。 パスワード方式が毎回パスワードを送信することに較べてセキュリティの高い方式ですが、コマンドを送信するまでに、余分なやりとりが必要となります。
パスワード方式	パスワードとコマンドを送信する方式です。

### 「メール制御パスワード」

メール制御コマンドでパスワード方式を選択した場合に使用するパスワードを設定します。PIN-KAN パックでは、あらかじめ特有のパスワードが設定されています。（パスワードは「PIN-KAN 設定表」に記されています）  
パスワードは、任意の半角英数文字40文字を使用できます。  
また、大文字、小文字の区別がありますので、お気をつけください。  
変更後は、お客様でパスワードを管理なさってください。

### 「メール制御許可アドレス」

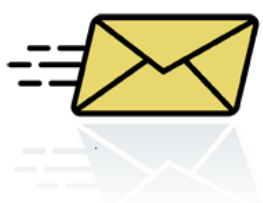
メール制御コマンドを有効にしている時に、どのメールアドレスからの制御を有効にするか決めることができます。PIN-KAN パックでは、「通知先アドレスのみ」を選択しています。

制限無し	制限はありません。
通知先アドレスのみ	通知先として登録しているメールアドレスからの制御のみを受け付けます。

### 「送信メール」（件名～本文5行目）

通知メールに含める内容を選択できます。  
PIN-KAN パックは、デフォルトの状態のままを選択しています。

項目	設定値	説明
メール制御コマンド有効	パスワード方式	メール制御の有効/無効。有効の場合の方式を選択します。
メール制御パスワード	●●●●	メール制御に使うパスワードです。
メール制御許可アドレス	通知先アドレスのみ	メール制御の許可を与えるアドレスを制限するかどうかを選択します。
「送信メール」 「件名～本文5行目」		通知メールの内容を選択します。



「通知先設定」の画面

No.	通知先アドレス	死活	温度	PPPoE
アドレス1	●●●●●●●●	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス2		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス3		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス4		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス5		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス6		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス7		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アドレス8		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ログ送信カウント

[送信テスト画面へ](#)

通知先アドレスを8個まで設定できます。

PIN-KANパックでは、ご指定していただいたメールアドレスが、アドレス1に設定されています。

「死活」：PING監視の状態が変化した時にメールが送信されます。

「温度」：温度監視の状態が変化した時にメールが送信されます。

温度監視機能は温度センサーオプションを接続する必要があります。

WATCH nino (RPC-M2C) には接続できません。

「PPPoE」のチェックは、通常使用しません。

「メール制御許可アドレス」が「通知先アドレスのみ」になっている場合は、ここに登録されたメールアドレスからのみ、制御が可能となります。

### その3：その他の設定

ログインできたら左側のメニューから「基本設定」を選んでクリックしてください。  
基本設定の画面が出てきます。

「基本設定」の画面

No.	アウトレット名称	OFF遅延	再投入	ON遅延
1	Outlet1	0 秒	10 秒	1 秒
2	Outlet2	0 秒	10 秒	2 秒
3	Outlet3	0 秒	10 秒	3 秒
4	Outlet4	0 秒	10 秒	4 秒

- 「機器名称」 全角9文字、半角英数19文字を設定できます。
- 「設置場所」 全角31文字、半角英数字63文字を設定できます。
- 「アウトレット名称」 全角10文字、半角英数字20文字を設定できます。

こうした名称を上手につけることで、機器の管理が行ないやすくなります。  
是非、活用なさってください。

各種遅延時間については、明京電機社の取扱説明書をご確認ください。

## 第四章 PIN-KAN パックの注意点

---

### その1 : PING 監視

アウトレット1以外にもPING監視を設定したい場合は、15ページのPING監視のカスタマイズを参考にして、他のアウトレットにも監視先を設定することができます。アウトレット1に設定されている監視先を、同じように他のアウトレットに設定することもできます。あるいは、パソコンやIPカメラ、IPアドレスを持つスイッチなどPING監視できるものであれば、設定することが可能です。

ただし、機器によっては、フリーズしていてもPINGに応答をかえす場合があります。その場合は、E-mail制御を利用した遠隔リブートが必要になると思われます。

**注意！** PIN-KANパックに設定されている監視先アドレスは、PIN-KANパックによる監視に制限しています。この監視先アドレスを、他の機器、製品に設定することを、許可していません。どうぞ、ご注意ください。

**注意！** PIN-KANパックに設定されている監視先アドレスは、製品寿命の約10年間のご利用を想定して運営しています。ただし、予見しえない事故、災害など、どうしても対応できない状況により、サービスをご提供できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## その2 : E-mail 通知・制御

PIN-KAN パックで付与された E-mail アドレス以外のメールを、E-mail 通知や制御に利用することは可能です。明京電機社の取扱説明書を参考にして、メールサーバー設定を、変更してください。ただし、製品は SMTP over SSL 認証には対応していません。認証方式の制限から、多くの場合、無料メールは利用することができません。どうぞ、ご注意ください。

また、E-mail 制御を許可している場合、製品は、周期的にメールサーバーをチェックし、自分宛のメールがあった場合、受信と共に、サーバーからはメールを削除します。それで、通常利用しているメールを製品に設定すると、受信メールが削除されることとなりますので、ご注意ください。

**注意！** PIN-KAN パックに設定されている E-mail アドレスは、PIN-KAN パックによる利用に制限しています。この E-mail アドレスを、他の機器、製品に設定することを許可していません。どうぞ、ご注意ください。

## その3 : 初期化

PIN-KAN パックの設定は、監視先など重要な部分の設定について、初期化しても設定が残るようになっています。ご自分で、設定をカスタマイズした後、設定が分からなくなったような場合でも、初期化することで購入時の状態に戻すことができます。詳細は、「PIN-KAN パック設定表」をご覧ください。



## 第五章 PIN-KAN パックのトラブル対応

現象	チェックポイント	対処方法
本体起動後、アウトレットが ON しない	ON 遅延時間に「-1」が設定されていませんか？	起動時に ON させる場合は、0 以上を設定してください。
	PILOT-LED が赤色で点滅していますか？	内部故障の可能性がります。メーカーに連絡してください。
PING 監視で 1 時間毎にレポートがかかる。	LAN ケーブルが外れたり、断線したりしていませんか？	LAN ケーブルをはずした時に、LINK-LED の点滅速度が速くなるはず。変化の無い場合は、ケーブルを変更してください。
	インターネットに正常に接続されていますか。	他の PC でインターネットに接続できることを確認してください。
	監視先の設定が変更されていませんか？	WEB で接続後、PIN-KAN 設定表と監視先を比較してみてください。
		設定を変更した場合は、変更先のアドレスを再度確認してください。
PING 監視でレポートがかからない。	既に、レポートが生じていて、1 時間周期のレポートになっていませんか？	WEB で接続後、監視状態を確認してみてください。異常になっている場合、1 時間ごとのレポートが実行されています。
PILOT が赤くなった	これまでのレポート回数が 12 回を越えたことの警告です。	フロントの RESET ボタンを 1 秒ほど押してください。復旧します。
E-mail が届かない	インターネットに正常に接続されていますか。	他の PC でインターネットに接続できることを確認してください。
	迷惑メールとして拒否されていませんか？	PIN-KAN パックに設定されているメールアドレスをホワイトリストなどに登録してください。
	メール設定の通知先アドレスが変更されていませんか？	WEB で接続後、メール設定画面で確認してください。
	メール設定の通知先アドレスの「死活」チェックがはずれていませんか。	WEB で接続後、メール設定画面で確認してください。
E-mail 制御でできない（応答が無い）	インターネットに正常に接続されていますか。	他の PC でインターネットに接続できることを確認してください。

	制御用のアドレスは、メール設定の通知先アドレスに登録されていますか？	WEBで接続後、メール設定画面で通知先アドレスに登録されていることを確認してください。
	パスワードは一致していますか？	1行目にパスワードを入力してください。半角英数です。また大文字、小文字の違いにもご注意ください。
		無料メールでは、1行目に宣伝が入ることがあります。他のメールで受信して確認してみてください。
E-mail 制御ができない (応答はある)	コマンドを間違えていませんか？	コマンドのスペルにご注意ください。
	使用できないコマンドではありませんか？	応答一覧を確認なさってください。コマンドが重なると実行できない場合もあります。
	アウトレットで OFF を禁止していませんか？	OFF 遅延時間が「-1」に設定されていると、OFF 制御を受け付けても、実際には OFF しません。
PILOT-LED が消灯している。	ディップスイッチは、すべて OFF (上) の状態ですか？	ディップスイッチの状態を正しい状態にして、再度、電源を投入してください。(全部 OFF (上))
	ディップスイッチが正しい場合は、故障の可能性があります。	メーカーにご相談ください。
WEB のログイン画面がでない	IP アドレスが変更されている可能性があります。	E-mail または ARP、あるいは RPC サーチを利用して、IP アドレスを確認してください。
	ブラウザの設定が PROXY 経由になっていませんか？	PROXY を無効にしてください。
	パソコンと製品のセグメントが異なっていませんか？	同じルーターでインターネットに接続できることを確認してください。
	通信設定で、HTTP のポート番号を変更していませんか？	変更したポート番号に対して、接続してください。
WEB でログインできない (画面は出る)	ID パスワードが間違っていますか？いずれも英数半角です。	ID、パスワードが分からない場合は、初期化するしかありません。

# 付録

## E-mail 制御コマンド・レスポンス一覧表

製品からのレスポンス	意味
220 Command OK.	コマンド成功
501 Unrecognized command.	不正なコマンド（認識できないコマンド）
502 Last command is pending. Command failed.	最後のコマンドを実行中のために、コマンドを実行できず

## E-mail 制御コマンド一覧

コマンド	意味	備考
MPON	全アウトレット ON	ON 遅延時間が有効
MPOF	全アウトレット OFF	OFF 遅延時間有効
MPOR	全アウトレット OFF/ON	全アウトレット再投入有効
PON <sub>n</sub>	アウトレット <sub>n</sub> ON	
POF <sub>n</sub>	アウトレット <sub>n</sub> OFF	OFF 遅延有効
POR <sub>n</sub>	アウトレット <sub>n</sub> OFF/ON	再投入遅延有効
POS	電源状態確認	1 が ON、0 は OFF
XPOS	電源状態確認遅延付き	
VER	バージョン確認	
LOG	ログ情報 (古い順)	一度に20行ずつ表示 改行コードごとに、次の20行を表示。
LOGB	ログ情報 (新しい順)	一度に20行ずつ表示 改行コードごとに、次の20行を表示。

## PIN-KAN 設定表

設定項目	設定値	備考
製品型名		Ver.
PING 監視先 1		
PING 監視先 2		
PING 監視先 3		
PING 監視先 4		
送信回数	10	
無答回数	10	
対象	4	
動作	リブート	
E-mail address		
ユーザー名		
パスワード		
POP3サーバー		
SMTP サーバー		
POP3 ポート		
SMTP ポート		
SMTP 認証方式		
APOP 認証		
メール制御有効化		
制御用パスワード		
通知先 E-mail		
通知イベント		
NTP サーバー		
備考：		

お問い合わせ先：  
株式会社電制システムズ  
電話番号 0467-44-0967  
E-mail info@densei-sys.co.jp  
HP：<http://www.densei-sys.co.jp/>

### 【注意点】

1. 本書および製品の内容の一部または全部を無断で複写複製することは禁じます。
2. 本書および製品の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書および製品の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4. 本製品を運用した結果の影響については、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、または弊社および弊社指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 弊社指定以外のオプションを装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください

※ 「WATCH BOOT」は、明京電機株式会社の登録商標です。

PIN-KAN パック

取扱説明書

第 1.0a 版

株式会社 電制システムズ